

令和3年度 第4回天竜区協議会

次第

日時：令和3年7月28日（水）

午後2時00分から

会場：天竜区役所 21・22 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 事

(1) 答申事項

天竜区市営住宅（渡ヶ島団地ほか7団地）の廃止・解体について【資料1】

(2) 諮問事項

浜松市過疎地域持続的発展計画（素案）について【資料2】

(3) 協議事項

ア 浜松市歴史的風致維持向上計画（案）のパブリック・コメント実施について
【資料3】

イ 令和3年度浜松市天竜区市民活動表彰について【資料4】

(4) その他

地域課題

5 その他

次回開催予定

日時 令和3年8月26日（木）午後2時

会場 天竜区役所 21・22 会議室

6 閉 会

【資料 1】

第 1 1 号様式

諮問事項に対する答申書（案）

天竜区協議会

件 名	天竜区市営住宅（渡ヶ島団地ほか7団地）の廃止・解体について
諮 問 内 容	<ol style="list-style-type: none">1 天竜区市営住宅のうち、渡ヶ島団地、若身団地、気田団地、大原団地、つつじヶ丘団地、雲折団地、下平山団地の7団地91戸について、用途廃止にかかる条例の一部改正を行う。2 大谷団地については、木造棟32棟を廃止し、団地内集約を行う。3 令和3年度以降は、当該団地の入居者募集を停止し、現入居者については、順次、移転交渉を進める。4 移転交渉にあたっては、入居者の意向を十分考慮し丁寧な対応に努める。5 各団地ともに、入居者全員の移転が終了した住棟から、順次解体する。6 用途廃止後の用地については、借地は地権者へ返還し、市有地は庁内での利活用を検討する予定である。
答 申	諮問内容について審議の結果、適切であると認めます。
備 考	

区 協 議 会

区 分	■ 諮問事項 □ 協議事項 □ 報告事項			
件 名	浜松市過疎地域持続的発展計画（素案）について			
事業の概要 （背景、経緯、 現状、課題等）	<p><背景> 平成17年の合併以前から、過疎4地域（春野地域、佐久間地域、水窪地域、龍山地域）は、それぞれ過疎計画を策定して、過疎対策に取り組んできた。また、合併後も、4地域は一部過疎地域として指定され、過疎計画を策定し、道路、上下水道、消防、教育等の過疎対策を促進してきた。</p> <p><経緯> 過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月末をもって失効した。 令和3年4月1日に過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行された。 本市は、過疎地域の財政力要件を満たしていないが、過疎地域とみなされる区域を有する特定市町として6年間の経過措置を受けることができることとなった。</p> <p><課題> 経過措置を受けるためには過疎地域持続的発展計画の策定が必要である。</p>			
対象の区協議会	天竜区協議会			
内 容	<p><計画期間> 令和3年度～令和8年度（6年）</p> <p><登載事業数> 233事業</p> <p><主な財政措置> 過疎対策事業債の発行 過疎地域持続的発展計画に基づいて行う事業の財源として特別に認められた地方債 充当率 100% 元利償還金の70%が普通交付税の基準財政需要額に算入</p>			
備 考 （答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など）	<p>答申を得たい時期：令和3年8月末 今後の予定：令和3年9月議会提案</p>			
担当課	市民協働・地域政策課	担当者	竹本 貴宣	電話 457-2243

区 協 議 会

区 分	□諮問事項 ■協議事項 □報告事項		
件 名	浜松市歴史的風致維持向上計画（案）のパブリック・コメント実施について		
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>【趣旨・目的】 歴史まちづくり法に記されている歴史的風致の定義に基づき、歴史的風致を構成する建造物の保存や活動を支援することで、地域一体の良好な環境が維持され向上することを旨とする。</p> <p>【背景・経緯】 大河ドラマ放映や新たな国指定文化財の指定など本市の歴史文化資源への関心の高まり。 一方、少子高齢化や人口減少社会など社会環境の変化に伴う歴史文化資源の喪失のおそれが生じている。 関連する「浜松市都市計画マスタープラン」改定及び「浜松市文化財保存活用地域計画」が作成された。</p> <p>※令和 3 年 6 月末現在、全国で 86 市町が策定・認定。 ※歴史的風致とは 歴史上価値の高い建造物が存在するだけでなく、地域の歴史と伝統を反映した人々の活動が展開された、情緒や風情、趣などを感じることができる良好な市街地の環境。</p>		
対象の区協議会	全区協議会		
内 容	<p>【計画（案）の概要】</p> <p>○計画の期間 国の認定後 10 年間（令和 3 年度から令和 12 年度まで）</p> <p>○歴史的風致の設定 本市の地域特性や歴史的・文化的背景に基づき、12 件の歴史的風致を設定。</p> <p>○歴史的風致の維持向上に関する方針 「歴史的建造物の保存活用」「周辺環境の保全」「伝統的な活動の継承」「歴史文化を活かした観光振興・地域活性化」</p> <p>○重点区域の設定 法定要件に基づき、3 地区（表浜名湖、奥浜名湖、天竜二俣）の重点区域を設定</p>		
備 考 (答申・協議結果を得たい時期、今後の予定など)	<p>〈今後の予定〉</p> <p>令和 3 年 8 月 16 日～9 月 17 日 意見募集 令和 3 年 12 月 意見募集結果及び市の考え方公表 令和 4 年 1 月 国へ認定申請（3 月認定見込）</p>		
担当課	土地政策課	担当者	平野 めぐみ 電話 457-2656

第 9 号様式

区 協 議 会

区 分	□諮問事項 ■協議事項 □報告事項				
件 名	令和 3 年度浜松市天竜区市民活動表彰について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>【趣旨】 浜松市市民活動表彰要綱第 3 条により区長が推薦し、同要綱第 6 条により区行政推進会議で審査した団体について、天竜区協議会に意見を求める。</p> <p>令和 3 年度天竜区長賞候補団体 ドラゴンママ</p> <p>【参考】 令和 2 年度天竜区長賞表彰団体 上阿多古地域づくり協議会</p>				
対象の区協議会	天竜区協議会				
内 容	<p>【推薦理由】 ドラゴンママは、地元の農産物等の加工・研究・開発を行うとともに、潤いと活気のある農村を形成するための活動を行うことを目的に組織された団体である。 龍山地区活性化施設を拠点に活動し、ジャム、菓子、漬物、惣菜、味噌などの特産品の加工や販売、販売所「よらんかね」の運営、「食」をテーマに季節の行事や郷土料理などを伝える体験イベントなどを開催している。 また、龍山産業祭、山フェス、天竜山の市などの町内外のイベントに積極的に参加し、龍山地区の P R 活動を行っているほか、近年は施設を利用したイベント等を開催し、都市住民との交流にも取り組むなど、地域の活性化に大きく貢献している。 今後はインターネットを活用した特産品の販売や地域情報の発信事業、付加価値を付けた商品の開発、調理体験やウォーキングツアー等の充実など、これからの活動の発展にも期待できることから推薦する。</p>				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	7 区の区長賞受賞団体から、市長賞受賞団体を決定する。				
担当課	天竜区 区振興課	担当者	鈴木 宏行	電話	9 2 2 - 0 0 1 1

浜松市市民活動表彰 候補団体推薦書

(ふりがな) 団体名	どらごんママ ドラゴンママ	(ふりがな) 代表者氏名	たまもと きみえ 玉本 君枝
e-mail	—	電話番号	053-968-0011
		FAX 番号	053-968-0011
団体設立年月	平成 14 年 4 月 1 日	団体員数	8 名
団体活動目的	龍山地区活性化施設を拠点として、農産物等の加工・研究・開発を行うとともに、地域活性化のための諸事業を行い、潤いと活気のある農山村の形成に資することを目的としている。		
これまでの 主な活動実績	<p>①地元の農産物や特産品の加工、販売 ジャム、菓子、漬物、惣菜、みそ作り等 販売所「よらんかね」の運営（火～日）</p> <p>②町内外のイベントへの参加 地域行事や町外イベントに参加し、龍山地区をPRしている。 町内：龍山産業祭、桜まつり、桜マラソン等 町外：山フェス、天竜山の市、各地区の各種イベント</p> <p>③ドラゴンママの「食」の体験イベントの開催 参加者(子供～大人)に季節の行事や郷土料理を伝えている。</p>		
P R し た い 活 動 実 績 の 概 要	活動名	地元の農産物を活用した地域の活性化	
	活動の期間	平成 14 年 4 月 1 日～	
	活動財源 該当するもの全 てに○	行政からの補助金・ <u>団体会費</u> ・寄附・ <u>当該活動により得た収益</u> その他（)	
	活動のきっかけ	地元の農産物等の加工・研究・開発を行うとともに、潤いと活気のある農村を形成するための活動を行うことを目的に、龍山村（当時）の公募により、組織された団体。	
	内容	○地域の活性化 活性化施設を有効活用した、地域の特産物の加工、販売。 地域食材（農産物）の買上げと販売。 観光拠点としての活動。（観光客の立寄りどころとして） 市やNPO法人と連携し郷土料理加工体験イベント等を開催。	
	成果	地元の特産品や加工品の販売について、積極的に販路を拡大するとともに、地域の特産品作りを推進している。 また、町外のイベントに積極的に参加し龍山地区のPR活動を行っているほか、近年は施設を利用したイベント等を開催し、都市住民との交流を図っている。	
	この活動について更に発展させたいこと	インターネットを活用した特産物の販売と地域情報の発信。 自店で付加価値を付けた商品の開発、販売の促進。 調理体験や軽いウォーキングツアー等のイベントの充実。	
	活動に協力した団体等	行政・企業・ <u>NPO</u> ・学校・市民・その他（) 協力の内容 イベントチラシの配布、ホームページでの広報	